

Quarterly
クォーターリー

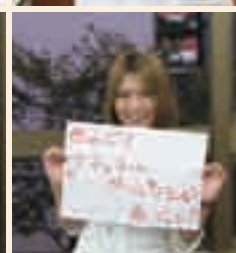
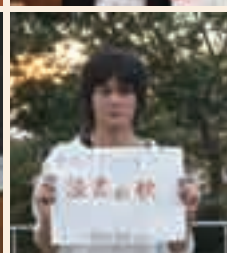
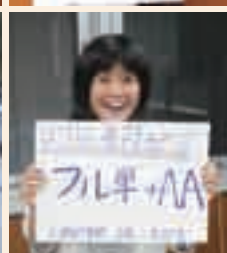
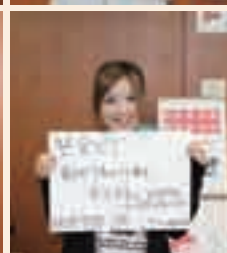
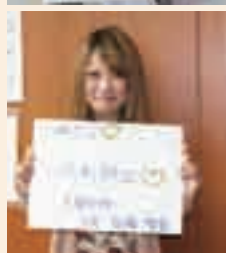
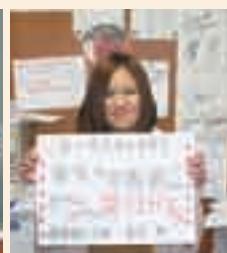
高千穂

秋号

2012/10 Vol.39

特集

秋に勝負を懸ける
学生たち



TAKACHIHO UNIVERSITY



Quarterly
クォーターリー

高千穂

Vol. 39 | 2012/10

Contents

特集

3

秋に勝負を懸ける学生たち
この秋に懸ける想い
今年の高千穂祭の見どころ
ゼミ発表会スケジュール
一人ひとりが心に秘めた想い

By Air Mail

12

海外留学・研修レポート

TAKACHIHO Report

14

誌上就職情報&報告

TAKACHIHO Report

16

教育実習体験報告

New Books & Review

17

書籍紹介

TAKACHIHO Report

18

平成24年度 高千穂大学 奨学生表彰・認定式

TAKACHIHO Information

20

高千穂学園同窓会
高千穂大学父母の会

TAKACHIHO Information

22

キャンパスニュース
編集後記

高千穂大学ソーシャルメディア 公式アカウント

facebook

<https://www.facebook.com/takachihouniversity>



[@takachihouniv](https://twitter.com/takachihouniv)



特集 秋に勝負を懸ける 学生たち



秋といえば
「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」など
様々ですが、高千穂大学にもこの秋に
それぞれのステージで勝負をする学生達があります。
学生達の「勝負の秋」について
聞いてみました。



高千穂祭 実行委員会 委員長

この秋に懸ける想い

第47回高千穂祭実行委員会の委員長を務めます、安達明則です。まず初めに、高千穂祭は実行委員会だけの力では築きあげることできません。本学の学生・同窓生・教員・職員の皆様、または商店街・近隣にお住まいの皆様、高千穂祭に関わる全ての方々に感謝を申し上げます。

さて、実行委員である私達は、昨年の高千穂祭終了時の秋に活動をスタートしました。私達は本番前だけ活動していると思われがちですが、実際は年間を通しての新企画の検討、コンサートやお笑いライブ等の業者との交渉、そして前年度の反省を踏まえて様々な準備をしてきました。現在は間近にせまった本番に向けてラストスパートをかけています。

今年は例年の倍以上の1年生が加入し、100名近くの委員数となりましたので、私を含めた3年生がどれだけ統率をとることができるかが大事になっていくと思います。昨年よりも来場者の方々に喜んで頂き、何より私達3年生が高千穂祭の運営を楽しみ、まだ何も知らない1年生達に実行委員の魅力を伝えたいと思います。また、この第47回高千穂祭で私たちの学年は引退なので、3年間の経験を生かして盛大な高千穂祭にしたいと思います。皆さんぜひ高千穂祭を楽しんで行って下さい。



高千穂祭実行委員会 委員長
安達 明則
(経営学部 3 年)

目標は…

今年のテーマはSTEPに決定致しました。来場者楽しんで頂くには実行委員個人の成長が必要だと思います。実行委員にはそれぞれ役割があり、「自分の役割は何か?」そして、「自分には何ができるだろうか?」を一人一人が考えて行動し、実行委員全員が高千穂祭の準備・運営を通して成長したいと思います。

安達君ってこんな人

高千穂祭実行委員会副委員長 田中 君平

安達は、正直、始めは不器用でリーダーシップもあり無く見え、委員長には向いてない人間だと思っていました。ですが、委員長として委員会をまとめ、職務を必死にこなそうとする彼の姿勢はとてもカッコよく、そんな安達の背中を見て、周囲の人も奮起させられます。最後まで安達を支えて、ついていきたいと思っています。委員長が安達で良かったです。



10月19日(金)、20日(土)、21日(日) テーマ「STEP」

カラオケ大会 20日

お笑いライブ 21日

ミス・ミスター高千穂コンテスト。 21日

ビンゴ大会

19 日、20 日

豪華賞品が揃っています。

音楽団体ライブ

20 日

ロックからジャズまで様々なジャンルのバンドが演奏します。

ステージパフォーマンス 20日、21日

20 日、21 日

ダンス、アカペラ、演劇など楽しいパフォーマンスが目白押し。



模擬店 19日～21日

19日~21日

おでん、お好み焼きから
駄菓子、おもちゃ作りま
で！ いろいろ揃っています。



フィッシュ
セラピー

21 日

ドクターフィッシュによる癒しの時間。

ネイルアート体験

21 日

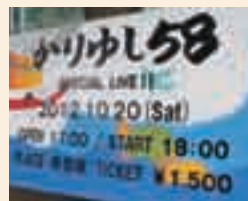
ネイリスト養成校の生徒
による本格的なネイル体
験。



かりゆし 58
ライブ

20 日

飾らない歌声が魅力の「かりゆし 58」。満員御礼は必至!?



受付

フットサル大会高千穂 CUP

19日

毎年白熱の好ゲーム続出。

ふれあい動物園

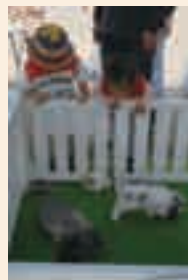
20 日

かわいい動物、珍しい動物がたくさん。

セグウェイ試乗体験

21 日

乗ったことのある人は少ないのでは？
ぜひこの機会に。



Quarterly TAKACHIHO 2012.10 Vol.39

今井 伸吾 (経営学部 4 年)

この秋に懸ける想い

今年の始めは 2 年生以上が 8 人と少ない中でシーズンがスタートしましたが、春の勧誘で 1 年生が例年よりも多く入り、チームのムードも明るくなりました。
昨シーズン終了後、全員で厳しい練習、筋力トレーニングをし、夏にはリーグ戦に向けての合宿を行い、多くの時間を共有することで、チームメイトとも意識の共有、良いチームワークを構成することができ、現在に至ります。9 月 22 日(土)の東京農工大学戦を初戦に、自分達 4 年生最後のシーズンが始まりました。悔いなく最高のシーズンとして結果が残せるよう、1 プレー 1 プレーを大事にし、後輩達が来シーズン以降目標としてもらえるような熱いプレーでチームを引っ張っていきたくと思っています。

目標は…

自分達の目標はもちろん優勝、その後の 2 部昇格です。4 年間必死に練習し、辛い事、楽しい事を経験してきたので、必ず有終の美としてチームに記録を残したいと考えています。

今井主将ってこんな人

左：関彰 則 (経営学部 3 年)

右：鳥居 伸光 (経営学部 3 年)

主将でありながらも、いつも率先してチーム内を明るくしてくれる、ムードメーカー的な存在であり、世界を舞台に活躍できる、そんな熱いハートを持った男です。(笑)



◆ 2012 リーグ戦日程

第 1 戦 vs 東京農工大学
9 月 22 日(土) 10 時 30 分開始
場所：大井第 2 球技場(東京 大井)
第 2 戦 vs 筑波大学
10 月 7 日(日) 11 時 00 分開始
場所：東京農工大学(東京 東小金井)
第 3 戦 vs 亜細亜大学
10 月 21 日(日) 11 時 00 分開始
場所：武蔵大学(埼玉 朝霞)
第 4 戦 vs 新潟大学
11 月 4 日(日) 11 時 00 分開始
場所：国際基督教大学(東京 三鷹)
第 5 戦 vs 国際基督教大学
11 月 18 日(日) 13 時 45 分開始
場所：アミノバイタルフィールド(東京 飛田給)



土谷 尚之 (人間科学部 4 年)

この秋に懸ける想い

自分はこの秋からキャプテンをやらせていただいています、普段はなかなかキャプテンらしいことが思うようにできずチームに迷惑ばかりかけています。その分、試合ではキャプテンとしてだけでなく、1 人の投手としてチームの勝利に少しでも貢献したいと思っています。

また、昨年の冬から今年の春にかけてケガをしてしまい、思うように野球ができずに非常に悔しい思いをしました。ただ、今となってはその辛く苦い経験が、野球をできる喜びや感謝の気持ちを改めて自分に教えてくれました。その気持ちを再確認することができたのは、本当に良かったと思っています。何事も初心にかえる大切な気持ちを忘れずに、4 年生最後の集大成として、この秋にプレーで発揮したいと思います。後悔のないように。チーム全員で勝つ！

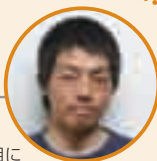
目標は…

2 部優勝。1 部昇格。1 部に昇格できるのも、まずは 2 部で優勝しないことには意味がない。2 部で優勝したその時から 1 部昇格への挑戦がはじまる。

土谷主将ってこんな人

加藤 健一 (商学部 3 年)

土谷主将は誰よりも野球に真面目に取り組み、その姿でチームを引っ張る頼れるキャプテンです。



体育会

和弓部 女子チームリーダー

兼城 和香 (商学部 3 年)

この秋に懸ける想い

この秋、私たちの目指すところは 3 部昇格です。これは和弓部女子部全員の想いです。1 年生当時、女子部はまだ 5 部でした。まだ入部したてで、先輩方のリーグ戦にける想いをわからなかった私は、その時の先輩方の気迫や集中力に圧倒され、想いの強さを知りました。その強い想いがあり、先輩方はその年、4 部に昇格を果たしてくれました。昨年は、普段の練習でも充分に昇格できる実力がついている自信がありましたが、リーグ戦全体を通して調子を維持できず目標を達成できず、調子を維持することの難しさを痛感しました。そして今年です。この 3 年間、色々な事がありました。部員同士の衝突も少なくありませんでした。ですが、全員が一丸となり、3 部に昇格という目標をもって練習しています。私は女子責任者として、現役女子部員と、卒業された先輩方の気持ちを背負い、今年のリーグ戦に挑んでいます。

目標は…

男女ともに昇格することです。男子の調子もいいので、女子も負けてられないです。まあ最後は女子の方が強いですけどね (笑)

兼城さんって こんな人

石井 琢也 (主将、商学部 2 年)

兼城先輩は後輩の面倒見がよく部活の事をよく考えていてチームの事を支えてくれているとても良い先輩です。



文化系

美術同好会

左: 小澤 朋末 (商学部 3 年)

この秋に懸ける想い

美術同好会に入部して 2 年半が経ち、入った当時、先輩方に様々なことを教えてもらいながらも大変なこともありましたが、毎日楽しかった思い出ばかりです。今は私が後輩を指導する立場となり、私が当時、先輩に教えてもらったように楽しさも伝えつつ同時に、皆を引っ張っていかなくてはなりません。そのためにも今年の高千穂祭でも皆で良い作品を描けるように頑張ります。卒業後、作品を見ていい思い出話ができるように、今年の秋も私達らしい活動をしたいと思っています。

目標は…

今の目標は高千穂祭の作品を納得のできる形で完成させることです。

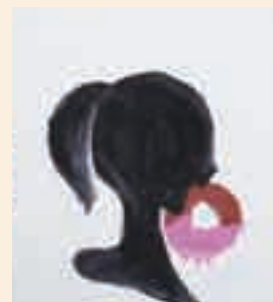
右: 水村 亮 (経営学部 4 年)

この秋に懸ける想い

4 年生の秋という事で、残りの大学生活の時間の少なさを感じます。しかし、やりたい事は、本当にまだまだたくさんあります。高千穂祭へ向けての作品作りに加え、ゼミの卒業論文にも手を動かずに挑戦していきたいです。特に高千穂祭は、美術同好会として私の最後の作品になると思うので、去年完成させられなかった油絵を是非頑張りたいと思います。

目標は…

卒業した先輩方のように、美術同好会の為になる何かを残したいです。



小澤画



水村画

漫画研究会

左：湯浅 美緒（人間科学部 3 年）

この秋に懸ける想い

私たち学術文化団体連合会のサークルでは六月祭と高千穂祭が大きな発表の場となっています。
高千穂祭では例年美術部さんと並んでのイラスト展示を行っており、部員の個性ある作品をお楽しみいただけるよう作品制作に励んでいます。
今年は多くの新入部員を迎え、展示と合わせて模擬店も活気溢れるものとなるでしょう。

目標は…

部のイメージを覆すエネルギッシュな活動を知って頂きたいです。



右：米崎 早織（商学部 3 年）

この秋に懸ける想い

現在、高千穂祭でのイラスト展示に向けて作品作りを進めていますが、年に2回（夏と冬）行われる同人誌即売会に合わせて部誌制作を始める時期でもあります。
今年は部員が大幅に増えたため一人一人のページ数は少ないですが、締め切りギリギリにならないよう余裕を持ち、クオリティを落とさない作品作りを出来るよう頑張りたいです。

目標は…

絵を描く機会が多いので、上手く描けるよう向上心を持って日々活動しています。

松崎ゼミ（インナー大会チーム）

大橋 茜（経営学部 3 年）

この秋に懸ける想い

私は去年、関東の学生を対象としたゼミ研究の大会であるインナー大会に初めて出場しました。精一杯頑張りましたが、予選敗退という結果でした。「来年こそは…!」私はそう心に誓い、今年はメンバー唯一の3年生、そして班のリーダーとしてインナー大会に臨みました。5月から準備を始め、バイトも部活も休み、夏休みは毎日集まって研究をしました。このように私が頑張れたのは、様々な方の支えがあったと思っています。

私の所属するゼミの松崎先生は、私達が主観的になりがちなところ、たくさんの客観的なアドバイスをしてくださいました。私が個人的にご指導をお願いした長谷川先生は、お忙しい中、右も左もわからない私達に、とても適切なご指導をしてくださいました。また、アンケートや団体への聞き取りなど、多くの方々が快く調査にご協力してくださいました。そして何より、私について来てくれたメンバーには感謝しています。このような支えがあってインナー大会1次予選では、ブロックで1位通過することができました。有難うございました!さらに期待に応えられるよう、最後まで諦めず、何より楽しんで頑張りたいと思います!

目標は…

去年「本選に出て、その場で楽しくプレゼンしたい!」と思ったからです。
インナー大会本選出場です。



大橋さんってこんな人

松崎 和久教授（経営学部）

いつも元気なガンバリ屋さんです。動物が好きで今はうさぎに夢中。カラオケで発する脅威の裏声は必聴!



嶋田 友香 (商学部 3 年)

この秋に懸ける想い

私たちゼミ連は、11月に行われるゼミ発表会に向け、春学期から新企画「プレゼンコンテスト」をはじめ、ゼミナール連合委員会議の資料作成、発表パートポスターの看板作成、プレゼン講習会、1年生に向けて専門ゼミの紹介をするPRイベントなど様々な企画の検討・準備を進めてきました。

今年度は特に役員数も多かったため、話が上手く纏まらず、もめることも多かったですが、衝突をしたり、悩んだ分だけ、その企画に対し、役員全員の熱意が企画に込められていると思います。

本番に向けて夏休み中は無我夢中で企画を進めてきました。この夏休み活動してきた最短距離ではなかったかもしれませんが、みんな成長できた有意義な夏休みになったと思います。

10月に行われるPRイベント・第2回プレゼン講習会・補助員説明会。そして最大の企画11月5日～9日に行われるゼミ発表会。全ての企画に対し役員一丸となり参加者にとって有意義な企画を提供することはもちろんのこと、私たちゼミ連役員も納得できるような運営ができるよう努力していきたいと思っています。ゼミ発表会にはぜひ足をお運び頂ければと思っています。

目標とその理由

目標は、ゼミ連の企画に関わる全ての方々の満足度を昨年よりも上げるということです。例えばゼミ発表会であれば、発表者、聴講者、先生方、父母の方、近隣の方、職員の方そして、ゼミ連役員自らの満足度を上げることです。理由は、「なんのために活動しているのか、なんのために企画なのかを常に考えなさい」とよく先輩方から言われてきました。ゼミ連はゼミ生の為に活動している組織です。しかし、ゼミ発表会であれば聴講者も発表をいかに聞きやすいかを提供しなくてはならないので、全ての方のことを考え、企画を進めたいと考えています。

嶋田委員長ってこんな人

大下 恭平 (商学部 2 年)

とにかく一生懸命に頑張る人で、なんでもそつなくこなしちゃいます。完璧な嶋田さんですが、自分は委員長なので同じチームで仕事をする後輩がいないと悲しんでいるときがあるなど、寂しがりで屋でお茶目な部分も持ち合わせています。尊敬できて可愛げもあるゼミ連委員長です！

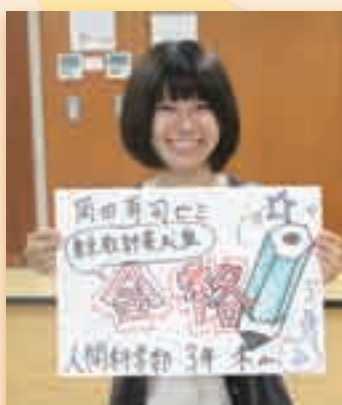
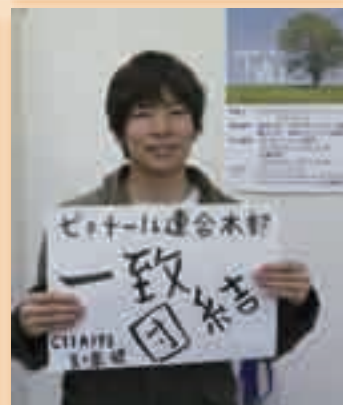


■ゼミ発表会発表枠(114パート) 発表時間 25分 聴講者質疑・ゼミ講評 5分 講師講評 5分 合計 35分

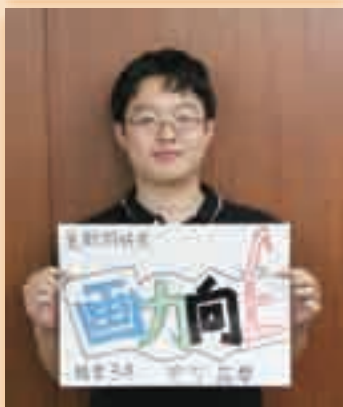
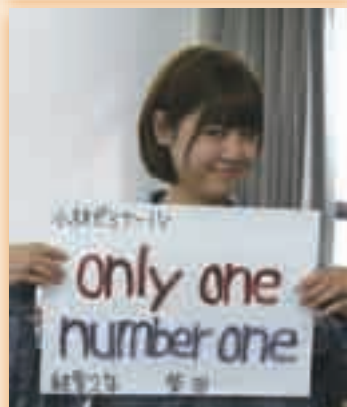
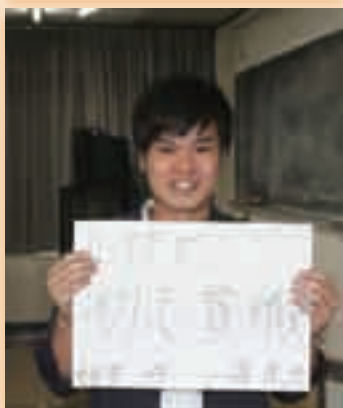
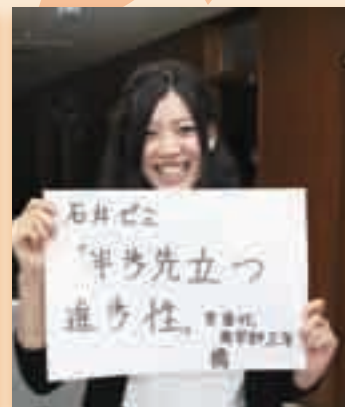
日付	5日(月)			6日(火)			7日(水)			8日(木)			9日(金)		
時間	1101	1102	タカチホホール	1101	1102	タカチホホール	1101	1102	タカチホホール	1101	1102	タカチホホール	1101	1102	タカチホホール
8:45 ~ 8:55	開会式														
9:00 ~ 9:35	1 【川名第一】 ソーシャル・ ビジネス班	9 【渋谷】 2班		24 【永戸第一】 1班	32 【並木第一】 昆虫飛翔班	40 【鈴木一成第一】 スマホアプリ 個人情報流出班	48 【庄司第一】 ひとまち班	56 【田口第二】 若手教育班	64 【竹内第一】 ニトリ班	72 【徳田第一】 子ども班	80 【小林第一】 グローバル班	88 【櫻井第一】 第一班	96 【松丸修三第二】 A班	103 【小向第一】 笑い学1班	109 【笹金第一】 第1班
9:50 ~ 10:25	2 【松丸啓子第一】 松丸啓子 ゼミ班	10 【西山第二】 SHR班	17 【倉茂第一】 A班	25 【渋谷】 1班	33 【舟木第一】 海賊班	41 【木村第一】 教育班	49 【竹内第二】 スタバ班	57 【松崎第一】 観光班	65 【川名第一】 被災地班	73 【佐藤第一】 英語アプリ班	81 【降旗第一】 研究開発班	89 【河合第二】 流通班	97 【松崎第一】 スポーツ 研究班	104 【佐野第一】 おゆとり様の 消費班	110 【笹金第一】 第3班
10:40 ~ 11:15	3 【西山第一】 蓮根班	11 【園部第二】 ギネス班	18 【後藤第一】 相続税班	26 【高瀬第一】 サブ班	34 【木村第一】 死刑班	42 【木村第二】 女子力草食 班	50 【倉茂第一】 C班	58 【新井第一】 第一班	66 【川名第一】 商店街班	74 【降旗第一】 プロ野球班	82 【小澤第一】 高級ホテル班	90 【藤芳第一】 動画サイト班	98 【降旗第一】 お一人班	105 【大島第一】 京都企業班	111 【笹金第一】 第2班
11:30 ~ 12:05	4 【染谷第一】 悪班	12 【西山第一】 Apple班	19 【楠美第一】 オタク消費班	27 【嘉瀬第一】 地域 活性化班	35 【木村第一】 宗教班	43 【高田第二】 高田ゼミ班	51 【庄司第一】 活性化班	59 【長谷川第一】 トイストーリー班	67 【楠美第一】 VIP班	75 【岡田泰介第二】 恋愛について班	83 【小林第一】 一人旅班	91 【松崎第一】 愛ペット班	99 【百瀬第一】 生活保護班	106 【新津第一】 第3班	112 【松崎第一】 農業班
12:10 ~ 13:00	昼 休 み														
13:00 ~ 13:35	5 【西山第一】 VFS班	13 【成田第一】 成田第一 ゼミ班	20 【吉原第一】 親子班	28 【新津第一】 第4班	36 【黒川第一】 A班	44 【園部第二】 アイドル班	52 【寺内】 日本に おける法班	60 【金杉第一】 Kana班	68 【松崎第一】 中小企業班	76 【岡田泰介第二】 人との 付き合い班	84 【園田第一】 外資班	92 【竹内第二】 ビーチ班	100 【鈴木隆弘第一】 水班	107 【園田第二】 会社経営班	113 【林第一】 コンビニ班
13:50 ~ 14:25	6 【新津第一】 第7班	14 【西山第二】 第二班	21 【藤井第一】 B班	29 【黒川第一】 Kチーム班	37 【松谷第一】 米田 大統領班	45 【菅野第一】 錯覚班	53 【庄司第一】 自販機班	61 【竹内第二】 UNDERARMOUR 班	69 【安本】 タバコ班	77 【小林第一】 グレーゾーン 班	85 【竹内第一】 タニタ班	93 【小澤第一】 格安ホテル班	101 【新津第一】 第2班	108 【佐野第一】 ベイト癒し ビジネス班	114 【倉茂第一】 B班
14:40 ~ 15:15	7 【新津第一】 第5班	15 【西山第二】 中小企業班	22 【林第二】 マツダ班	30 【高田第一】 国際的な班	38 【黒川第一】 B班	46 【藤芳第一】 ハード・ シュルツ班	54 【佐野第一】 ゲーム班	62 【竹内第一】 JTB班	70 【新井第一】 第2班	78 【岡田泰介第二】 睡眠 心理学班	86 【竹内第一】 ヤマダ電機班	94 【藤井第一】 A班	102 【新津第一】 第1班		
15:30 ~ 16:05	8 【新津第一】 第6班	16 【西山第二】 TEA班	23 【石井第一】 ゴム班	31 【恩蔵第一】 第一班	39 【小向第二】 笑い学2班	47 【藤田第一】 事業計画班	55 【竹内第一】 東京 ディズニー リゾート班	63 【佐野第一】 パッケージ班	71 【小林第一】 こじはる推し 班	79 【小林第一】 パーソナル班	87 【藤田第二】 経営戦略班	95 【金杉第一】 Sugi班	閉会式		

※パート番号「1」の発表者及び講評講師、講評ゼミ、聴講者は8:45からの開会式に出席していただきます。 ※パート番号「102」の発表者及び講評講師、講評ゼミ、聴講者は15:15からの閉会式に出席していただきます。

一人ひとり心



が に秘めた思い





海外留学・研修レポート

海外研修報告

商学部4年 井上 勝太 (台湾・東呉大学研修)

今回、私は中国語をより深く勉強するため、台湾への海外研修に参加しました。東呉大学の先生方はとても丁寧に指導してくれるので、より楽しく授業に取り組めました。また東呉大学の学生チューターが、放課後に勉強や台湾のことについて様々なことを教えてくれるので、より台湾に対する理解を深めることができました。授業の後にはチューターの方とカラオケや買い物、食事を楽しみました。台湾では日本の1/3ほどの物価なので、食べ物や洋服など日本では考えられない値段で売っていました。今回の海外研修で見聞を広めることができ、充実した1ヶ月だったと思います。



東呉大学からの風景



国立故宮博物院



リーダーの井上さん



チューター (左) との食事



夜市でタピオカミルクティーを嗜む一同



E7club にて



黄金博物館にて



黄金博物館にて



自由廣場門前にて



授業風景



中正記念堂



中央電台にて

経営学部3年 渡邊 翔太 (台湾:東呉大学研修)

約1ヶ月という短い海外研修でしたが、その中で少しでも中国語を上達させ、他国の文化を知りたいと思い、今回の海外研修に参加しました。最初は不安でいっぱいでしたが、チューターの方々が親切にサポートしてくれたお蔭で楽しく過ごすことができました。放課後にはチューターと様々な所へ行きました。その中で士林の夜市は何回も行きました。士林の夜市は台北最大規模を誇り、色々な屋台やお店が沢山あり、平日でも深夜の2時頃まで大勢の人で溢れていました。他には淡水という所が印象的でした。淡水には、お土産がたくさん売っていたり、淡水紅毛城(台湾で現存する由緒ある建造物の1つで国の第一級重要文化財に指定されており、世界遺産登録申請に最もふさわしいと評価されている)があり、夕焼け・夜景がとても綺麗な淡水河が素晴らしく、町の雰囲気もとても素敵でした。約1ヶ月の海外研修で、台湾での生活、歴史、文化を体験できて自分にとってとても良い経験となりました。この経験を今後に活かしていきたいと思います。また、中国語をもっと勉強してまた台湾に行きたいと思いました。



修了式



中央電台での集合写真

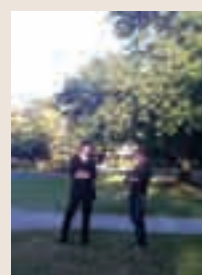
IBCSについて (アメリカ・オレゴン大学)

9月21日、IBCS(国際ビジネスコミュニケーションセミナー)研修生である経営学部3年の矢部博之さん、人間科学部2年の山本亘さんがアメリカのオレゴン大学へ出発しました。IBCSとは、国際的に活躍できるビジネス・パーソンを基礎を築く事を目的とした1年間の研修プログラムで、そのうち3か月間はオレゴン大学においての研修が行われます。今年度参加の2名は4月からの半年間、高千穂大学においてネイティブ教員



オレゴン大学

による語学学習やプレゼンテーションスキルを学んできました。これからはオレゴン大学でさらに英語能力に磨きをかけながら米国ビジネス事情や経済事情の科目を履修し、12月に帰国後、研修成果をプレゼンテーションします。



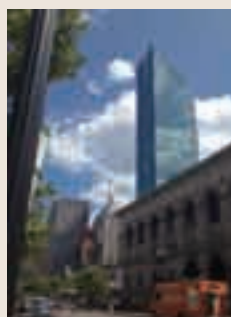
オレゴン大学内での研修生



成田空港から出発する IBCS 研修生

海外留学について

海外留学とは約1年間、高千穂大学と協定を結ぶアメリカ国内の大学で留学生として学ぶ制度です。留学先で取得した単位は卒業単位(上限30単位)として振り替えることができるため、留学期間も含め4年で卒業することができます。留学生には、留学先の1年間の授業料が奨学金として高千穂



ボストン市街



フィッシャー大学の入口

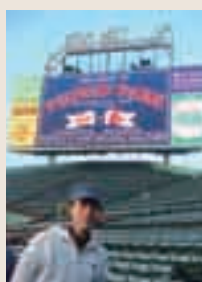
大学から支給されます。

今年度は経営学部3年の富沢正男さんがボストンにあるフィッシャー大学に留学しています。フィッシャー大学は、ボストンの街並みに走るBeacon street



語学学校で知合った友達

という通りを挟んで建っている大学で、これまで多くの高千穂大学の学生が留学しています。今年の留学生からは、ヨーロッパ由来の古い建物と近代的な建物が共存する美しいボストンの街並に囲まれて、クラスの友達と切磋琢磨し、勉強に取り組んでいる様子が報告されています。2013年5月帰国予定です。



レッドソックスの試合会場で

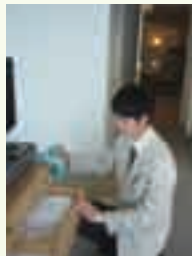


平成24年度学内選抜インターンシップ実習報告

インターンシップは、職業選択、特に就職企業とのミスマッチを防ぐためにも、とても意味ある制度です。

本学では、2・3年生を対象にした学内選抜型プログラムを、本学とかかわりの深い企業にご協力をいただき、実施しております。このプログラムは、企業で就業体験を受けるだけでなく、事前・事後指導において、企業研究や実社会で必要とされるビジネスマナーなども習得できるよう工夫されています。また就業体験は、夏休み期間中に行ってもらいます。

今年度は11社にご協力を頂き、学生18名が参加しました。企業での就業体験において学んだこと、新たな



自分を見つけたこと、苦勞したことなどの実習体験談を後輩の皆さんへ伝える“体験報告会”も実施いたします。この体験報告会には、実習企業担当の方々に参加していただき、インターンシップ全体において様々なアドバイスをいただくことを予定しております。

現1～2年生が次年度へ向けインターンシップを考える上で大変参考になりますので、是非、参加してください。

■インターンシップ報告会

日時：11月26日（月）16:20～17:50

■24年度学内選抜インターンシッププログラム 実習先企業一覧（50音順）

- ・(株)小田急トラベル ・(株)小田急リゾート
- ・(株)オンワード樫山 ・(株)紀伊國屋書店
- ・西武信用金庫 ・(株)中萬学院
- ・(株)東計電算 ・日電工業(株)
- ・橋本産業(株) ・(株)パレスエンタープライズ
- ・(株)文化堂

■インターンシップ事後指導日程

- ・第1回 10月 2日（火） 実習体験振り返り
- ・第2回 10月 9日（火） 実習体験報告会準備
- ・第3回 11月13日（火） 実習体験報告会準備・打ち合わせ
- ・第4回 11月20日（火） 実習体験報告会リハーサル

平成25年3月卒業者の就職支援情報

今年度の各企業の採用状況は、大手企業については既に採用活動を終えているところがほとんどですが、中小企業を中心に採用活動を継続している企業や秋以降採用活動を始める企業が目立っております。今年度も昨年に引き続き採用活動の長期化が続くと予想されます。そこで本学では採用実績のある企業を中心に「学内個別企業説明会」を6月以降随時実施しており、秋学期も開催しますので積極的な参加をお願いします。詳細は学内掲示や求人NAVIにてお知らせいたします。また、ハローワーク求人紹介をメインに東京新卒応援ハローワーク相談員（ジョブサポーター）が毎週月曜日に常駐しております。

秋学期も引き続き実施いたしますので積極的なご利用をお待ちしております。

■学内個別企業説明会・選考会実施企業

9月13日（木）から随時実施しております。実施企業や詳細については学内掲示や求人NAVIで確認してください。

■東京新卒応援ハローワーク秋学期相談日

【就職支援課にて要予約】

9月24日（月）～12月17日（月）

毎週月曜日の11:00～16:00

※10月8日を除く。

インターンシップ体験談

実習先:パレスホテル立川
(株)パレスエンタープライズ)

人間科学部3年

佐藤 あずさ



私はこの度、学内インターンシップに参加し、8月7日から8月20日までの間の計10日間、パレスホテル立川にて研修を受けさせていただきました。

私が今回インターンシップに参加したのは、大学卒業後は人と関わる仕事をしたいと考えているため、就職活動をはじめめる前に自分の適性を確認する場が欲しかったからです。ホテル業界には以前から興味を持っており、お客様に接する仕事で質の高いサービスやリラックスできる空間を提供できる業種であると思ったため、パレスホテル立川を研修先を選びました。これまでアルバイトをしていましたが、私は3年生の春になっても、自分が社会人になるイメージをはっきりと持てずにいました。そのため、今回のインターンシップを通してアルバイトとは違った視点で仕事や企業を観ることで、社会人としての心構えを学び、ホテル業界への理解を深めることを目標に、研修に取り組みました。

研修は前半と後半に分かれており、前半は客室係、後半はベル係の部門で行われました。客室係では、清掃が済んだ客室の点検やお客様から要望のあった物の準備などの業務を中心に団体の宿泊客のための準備や、クリーニングの衣類の回収・配布など、客室に関わる様々な業務を体験させて頂きました。清掃済みの客室の点検では、汚れがないかどうか・備品やアメニティがすべて揃っているかはもちろん、置いてある電化製品や照明がすべて作動するかどうかも細かくチェックしました。研修中に一度私が点検した部屋に照明が点かなかったところがあり、電球を替えても点灯しなかったため、施設係の方に直していただいたことがありました。私はホテル業界に対して漠然と「キレイな空間」という印象しか持っていなかったため、こういった裏方の作業は、実際に働いてみてはじめて知ることができました。

ベル係では、直接お客様の応対をさせていただきました。お客様のお出迎えやお見送り、チェックイン時のお部屋へのご案内、空港行きのリムジンバスの受付などが主な業務でした。また、ベル係はそれらの仕事をしながらホテル内にいる間は、お客様に対してデパートのインフォメーションのような役割も担います。そのため、ホテル内の施設のことや周辺の地域や交通機関についてなど色々な質問に答えられるように、ホテル内外の様々な情報を持っている必要があります。最初はなかなかスムーズに答えることができず、とても苦労しました。しかしお客様の質問に答えられなかった場合でも、調べたり周りの人に教えていただきながら疑問を解決し、丁寧に対応することで「玄関から玄関まで快適に」というパレスホテル立川の営業理念が実現できるのだと感じました。

また、パレスホテル立川は宿泊客の3〜4割が外国人のお客様で、日本語がまったく話せない方もたくさん来られています。指導してくださった社員の方々は英語で対応していますが、わたしは英語が大の苦手な、ベル係で研修中にはじめて外国人のお客様の

チェックインのご案内をした時は身振り手振りを交えてなんとか鍵の開け方などについて説明し、きちんと話せた言葉は「Please enjoy your stay.(ごゆっくりどうぞ)」だけでした。しかしお客様が笑顔で「Thank you!」と返してくれた時に、拙くても伝えようとする姿勢の大切さを知りました。私は接客業での就職を考えているため、どこに就職しても多かれ少なかれ英語に接する機会はあると思っています。そのため今回の研修で実際に英語で接客する機会を持てたことと、はじめは台詞から覚えていって徐々に表現を増やしていくなど話すことで英語を身につけることもできると社員の方々に教えていただけたことで、英語への苦手意識が払拭されたのは、私にとっても大きな収穫でした。

今回のこの研修を通して、ホテル業界への理解を深めるという目的は果たせたと思います。ホテルにはフロントやベル、レストランや結婚式場などお客様の目に触れる部門もあれば、施設や客室や庶務など、裏でホテルを支えている部門もあります。部門ごとにたくさんの従業員の方が専門の業務に従事し、それぞれの部門が歯車となりホテルが運営されているということが、実際に客室係とベル係の仕事に触れたり、色々な部門の仕事を垣間見ることで改めて実感できました。どのように企業が成り立っているのかを知ることで、近い将来社会人となりそのなかで働くということについても、少しは理解できたように思います。そして今回の研修で人と接する仕事に対する憧れが強まると同時に、お客様からは見えない場所で快適な空間を支えている仕事の重要性も学んだため、自分の中で職業選択の幅も広がったのではないかと思います。また、今回研修先について知ったことで他の企業や他の業界はどうなっているんだろう?と興味を持つことができ、これから就職活動の準備をしていくにあたって、後悔のないように自分のしたい仕事を研究することが、今後の課題であると考えています。

パレスホテル立川の方々には、ふたつの部門でたくさんのことを教えていただき、またホテル業界や就職活動についてのお話しをしていただき、大変お世話になりました。今回教えて頂いたことをしっかりと自分の中に吸収し、就職活動を含めた今後の自分の将来に活かしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



教育実習体験報告

教育実習を終えて

私は6月4日から6月15日までの2週間、母校である茨城県立水戸商業高等学校で教育実習を行いました。担当科目は商業科目の情報処理で、HRは2年4組を担当しました。在学中に直接お世話になった先生方のほとんどは、いらっしゃいませんでしたが、みなさん快く接していただきました。

実習1週目は、主に授業見学をしました。大学の授業では板書を使った簿記の授業実習しか行なったことがなく、コンピュータを使った授業の難しさを知りました。一日の終わりには、見学をした授業ごとに工夫している点や授業の進め方などを自分なりにまとめました。放課後は2年4組の掃除を担当し、生徒たちとコミュニケーションをとることができました。実習3日目に急遽授業を行うことになり、先生方の授業を見学していたので大丈夫だろうと考えていましたが、実際は思うような授業を行うことができませんでした。

実習2週目は、その失敗を繰り返さないように授業を行うことを心がけました。しかし、緊張していたために生徒の様子を見

商学部 商学科

4年

佐川 航



ることがなかなかできませんでした。授業の回数を重ねるうちに緊張はあまりなくなり生徒とコミュニケーションをとりながら授業を行っていきけるようになっていきました。放課後は最終日の研究授業の準備を指導教諭の指導のもと行いました。

研究授業では、これまでの失敗を活かして自分の持てる力を発揮することができました。反省点はありましたが指導教諭の指導のおかげで自分のやりたい授業を行うことができました。

2週間という教育実習期間は始まる前は長いように感じていましたが、実際にはとても短く感じました。教育実習という貴重な体験をすることができてとてもよかったと感じています。教師という職業はとても大変だと感じると同時に、とてもやりがいのある職業だと感じました。

最後に、無事に実習を終えることができたのは実習校の校長先生をはじめ、指導してくださった先生方、生徒、高千穂大学の教職課程の先生方、教務課の方々のおかげです。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

教育実習体験レポート

人間科学部 人間科学科

児童教育専攻 4年

野上 恵子



私は、5月29日から6月22日までの4週間、東京都にある江戸川区立江戸川小学校で教育実習を行いました。担当教科は小学校全科で、2年1組(32名)を担当させていただいた他に、江戸川小学校の特色の一つである金管バンドにも参加させていただきました。

実習前半では、教務主任や生活指導主任などの先生方の講話や、授業参観を主な活動としつつ、初日から担当クラスに入り、授業補助として子どもたちに勉強を教えながら交流を深めました。様々な授業を参観させていただく中で、先生自身が授業を楽しむことで児童も学ぶことを楽しく感じていると思う瞬間が多々ありました。授業を楽しそうに行う先生は豊かな表情で声にメリハリをつけており、子どもたちはその表情を見て、その声を聞いていたのです。児童の目、耳、心をこちら側に向けてとはこういうことであると学ぶことができ、正に、机上では学ぶことのできないものだと感じました。

実習後半では、実際に教壇に立ち授業をさせていただきました。大学で学んだ指導法や授業参観で学んだことを活かした授業をしたつもりでしたが、なかなか自分の思い通りにいきませんでし

た。特に、児童に対する発問を考えるのが難しかったため、先生方にご指導していただきながら改善して授業を行いました。実習4週目には研究授業があり、校長先生をはじめ、たくさんの先生方が参観して下さいました。いつも以上に緊張している私のために、子どもたちはいつも以上に姿勢良く、手を挙げ、大きな声で発言したりと授業態度で応援してくれました。子どもたちが私を受け入れてくれたのだと実感し、非常に嬉しく思う出来事でした。

実習を終え、「学校」「家庭」「地域」が丸となるのが、子どもたちのより良い成長に繋がるのではないかと身をもって感じました。これは、教育現場に身を置かなければ分らなかったことかも知れません。改めてこの4週間を振り返ると、短い時間の中で学んだことは多く、とても充実した時間になったと思います。この実習で学んだこと、過ごした時間は私の一生の財産になるでしょう。

最後になりましたが、4週間の教育実習を無事に終えることができたのも、実習校の校長先生をはじめとする諸先生方、子どもたち、高千穂大学の教職課程を担当するの方々のおかげと深く感謝申し上げますとともに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今、学生に読んでほしい本！



後藤 正廣教授(商学部)より紹介

『ビジネスマンの父より息子への30通の手紙』

キングスレイ・ウォード 著、城山 三郎 訳

【新潮文庫・590円】(1987年 初版)

本書は、カナダの実業家が息子にあてた30通の手紙から構成されている。著者が手紙を書き始めた理由は、自身が二度にわたる大手術を受け、その生命に限りがあることを悟ったとき、残すべき重要な財産は、自らが歩み、学んだ教訓を息子に伝えることである、と考えたからである。

本書の第一通目の手紙は、息子が優れた大学に入学することになったが、気おくれしていることに対して、「君に言いたいのは、人生は一回限りだということだけである。精一杯生きよう!」と悔いを残さないように助言し、「君がこの、あるいはほかの、人生の挑戦にどのように応じようと、私はつねに君を信頼している。」と結んでいる。

本書の一通一通の手紙では、息子が直面する様々な困難に対して、著者自身の経験と思索に基づいた、そして、何よりも息子への愛情に満ちた、助言がときにユーモアをまじえて、明快に語られている。

そこには、息子をこよなく思う真の父親の姿があり、読む者に深い感銘を与えてくれる。

本書は、皆さんが実社会に巣立つ前に、その心構えの一端を得るために読んでいただきたい優れた書である。

そして、実社会に出た後も、困難に直面したときなどに読み返していただきたい書である。



(写真:紀伊國屋書店BookWeb)



(写真:紀伊國屋書店BookWeb)

小林 康一准教授(経営学部)より紹介

『失敗の本質』

戸部 良一 著

【中公文庫・800円】(1991年初版)



本書は、第二次世界大戦の主要な戦い(ミッドウェー作戦など)における日本軍の敗戦の原因を組織論の視点から明らかにした、いわば「失敗の研究」である。そこには、過去の成功体験への固執、情緒や人情による歪んだ人材評価、都合の悪い情報を伝えない不完全な情報ネットワークなどによって、正しい状況認知ができないまま誤った戦略を選択していく日本軍の姿が克明に描かれている。この姿はまさに震災直後の東京電力の姿であり、また現在では経営に苦しみ日本企業の姿とも重なる。

最終章では「失敗の教訓」としてこうした敗戦からなにを学び、どう実践に生かしていくかのヒントが数多く述べられている。こうした名著を真摯な姿勢で読み返し自らを振り返ることは、今後の激変する環境下での経営において再び同じ失敗をしないために特に重要となってくるであろう。

図書館員が選んだこの2冊

『柔の恩人—「女子柔道の母」ラスティ・カノコギが夢見た世界』

小倉 孝保 著

【小学館・1,680円(税込)】(2012年5月20日 出版) ISBN:9784093897419

幼少期は、差別と貧困のどん底にいた。少女時代は、街でけんかに明け暮れた。全てを擲った最初の結婚も失敗…。そんな彼女を救ってくれたのは、「JUDO」という名のスポーツだった。

やがて彼女は、柔道のために、自分の全人生と全財産を懸けた壮絶な闘いに挑んでいく。

女子柔道のオリンピック種目化のために闘ったコダヤ系アメリカ人女性柔道家、ラスティ・カノコギの生涯を描く感動のノンフィクション。彼女がいなければ、女子柔道は20年遅れていたかもしれない……。

第18回小学館ノンフィクション大賞受賞作。



『カーボン・アスリート—美しい義足に描く夢』

山中 俊治 著

【白水社・1,680円(税込)】(2012年7月30日 出版) ISBN:9784560082188

義足アスリートたちがより美しく躍動するために、日本を代表するプロダクトデザイナーが、学生たちとともに競技用義足のデザイン開発に挑んだ三年間の軌跡。

高い機能性と美しさを兼ね備えた競技用義足の開発に挑んだ感動のノンフィクション!

引用:紀伊國屋書店BookWeb

平成24年度 高千穂大学 奨学生表彰・認定式

平成24年7月3日（火）にセントラルスクエア2階 TAKACHIHO HALLにおいて高千穂大学表彰式・奨学生認定式が行われました。

本年度は総勢119名が選出され、成績上位者を対象に「小池厚之助賞」(71名)、秘書検定準1級を取得した学生に「資格取得者表彰」(1名)が表彰されました。

続いて「学業成績優秀者奨学生」(9名)、「私費外国人留学生奨学生」(3名)、国際ビジネスパーソンの養成を目的とした本学独自のプログラムであるIBCSの履修者に対し「IBCS特別奨学金」(2名)、「同窓会奨学金」(21名)、「海外研修奨学金制度」(10名)、「海外留学奨学金制度」(1名)に奨学生認定書が授与されました。

藤井理事長、成田学長をはじめとして、奨学生が所属するゼミナール担当の先生方、金子同窓会会長、平光父母の会副会長等、多数の方が出席されました。

授与に続き、理事長、学長、同窓会会長、父母の会副会長からご挨拶と祝辞を戴いた後、学生を代表して大日方 優さん（経営学部4年）がお礼と将来に向けての決意を述べて終了しました。

諸君の日頃の学問への意欲と成果が実を結んだものであり、今後もこれまで以上の努力を重ね、有為な人材として成長されることを期待しています。

平成二十四年度 高千穂大学 奨学生表彰認定式 次 第		司会進行	学生常任委員長 庄司 真人
一、開会の辞	学生委員長 森 平 彦	一、小池厚之助賞表彰	商学学部 十三名 人間科学部 二名 経済学部 十九名
一、私費外国人留学生奨学生認定	商学学部 二名 人間科学部 二名 経済学部 二名	一、学業成績優秀者奨学生認定	人間科学部 二名 経済学部 二名 経営学部 二名
一、資格取得者表彰	経営学部 一名	一、海外留学奨学生認定	経営学部 一名
一、IBCS特別奨学生認定	人間科学部 一名	一、海外研修奨学生認定	経営学部 一名
一、高千穂学園同窓会奨学生認定	人間科学部 二名 経営学部 二名 商学学部 二名 人間科学部 二名	一、挨拶	学 長 成 田 博 子
一、祝辞	理 事 長 藤 井 耐 博	一、祝辞	同窓会会長 金子 子 井
一、来賓祝辞	父母の会会長 米田 忠美子	一、受領者代表挨拶	四経営学部 大日方 優 彦
一、閉会の辞	学生会委員長 森 平 彦		



藤井理事長祝辞



受領者代表挨拶



奨学生表彰者



学長による授与



高千穂学園同窓会会長による奨学金授与

平成24年度 高千穂大学表彰規程及び奨学制度に関する規程に係る奨学生等一覧

<学部・学年別>

【小池厚之助賞】

【2年生】

学部	氏名
商学部	関根純司
商学部	後藤瑞希
商学部	篠田竜也
商学部	西内翔
商学部	後藤慶行
商学部	鴨下昌弘
商学部	大根田崇之
商学部	種田大地
商学部	永田絵雅
商学部	天野佳代子
商学部	細田祐貴
経営学部	大内達矢
経営学部	根本一千花
経営学部	八木下暉大
経営学部	黒坂由吾
経営学部	松坂寛幸
経営学部	千葉原優太
経営学部	井上真衣
経営学部	小泉雄輝
経営学部	小谷野翔
経営学部	相澤陸
経営学部	松本和磨
経営学部	王小華
人間科学部	清水和博
人間科学部	大塚美里
人間科学部	小久保杏菜
人間科学部	八代琢
人間科学部	加藤美夢

以上 28名

【私費外国人留学生奨学金制度】

学部	学年	氏名
商学部	4	金今姫
経営学部	2	王小華
経営学部	4	金国堅

以上 3名

【学業成績優秀者奨学金制度】

学部	学年	氏名
商学部	3	後藤ひとみ
商学部	3	久保庭聡
商学部	3	福地加奈子
商学部	3	山田明真
経営学部	3	岡村桃子
経営学部	4	大日方優
人間科学部	4	小高小絵
人間科学部	4	仁木研吾
人間科学部	4	小野寺俊

以上 9名

【3年生】

学部	氏名
商学部	秋谷未奈可
商学部	佐藤朱
商学部	小田島哲也
商学部	関野直博
商学部	舩田菜摘
商学部	内田一雄
商学部	阿部誠一
経営学部	大屋陽介
経営学部	久保壮次郎
経営学部	中川拓磨
経営学部	筒井達巳
経営学部	三宅萌加
経営学部	小林京介
経営学部	豊山雄喜
経営学部	高橋拓真
経営学部	榎並志保
人間科学部	廣橋優
人間科学部	小関風美帆
人間科学部	青島瞬
人間科学部	佐藤豪祐
人間科学部	青木莉菜

以上 21名

【海外留学奨学金制度】

学部	学年	氏名
経営学部	3	富沢正男

以上 1名

【資格取得者表彰】

学部	学年	氏名
経営学部	4	新藤健樹

以上 1名

【IBCS 特別奨学金制度】

学部	学年	氏名
経営学部	3	矢部博之
人間科学部	2	山本亘

以上 2名

【海外研修奨学金制度】

学部	学年	氏名
商学部	2	永田絵雅
商学部	4	細谷咲絵
商学部	4	井上勝太
経営学部	1	富沢宣明
経営学部	1	竹迫忠光
経営学部	1	飯田知樹
経営学部	1	石井章太郎
経営学部	1	大槻拓実
経営学部	3	前大舩優基
経営学部	3	渡邊翔太

以上 10名

【4年生】

学部	氏名
商学部	尾藤僚祐
商学部	真栄田あゆみ
商学部	青木浩太郎
商学部	瀬谷衣代
商学部	三井祐人
商学部	西川真衣
商学部	南尚歩
商学部	佐川航
商学部	村山英謙
商学部	得居千照
商学部	金今姫
経営学部	野原和博
経営学部	富田洋一郎
経営学部	平光洋介
経営学部	森泉優一
経営学部	岩佐綾香
経営学部	渡部遼
経営学部	水村亮
経営学部	金国堅
経営学部	王松
人間科学部	長田綾介
人間科学部	永倉佑華

以上 22名

【高千穂学園同窓会奨学金】

学部	学年	氏名
商学部	4	真栄田あゆみ
商学部	4	辻山絵梨香
商学部	4	照井悠真
商学部	4	野畑文
商学部	4	西川真衣
商学部	4	南尚歩
商学部	4	井村彩
商学部	4	井上勝太
商学部	4	橋本聡美
経営学部	4	野原和博
経営学部	4	高橋明男
経営学部	4	平光洋介
経営学部	4	森泉優一
経営学部	4	大日方優
経営学部	4	岩佐綾香
経営学部	4	渡部遼
経営学部	4	中島直樹
人間科学部	4	小高小絵
人間科学部	4	仁木研吾
人間科学部	4	小野寺俊
人間科学部	4	永倉佑華

以上 21名

同窓会の学生支援

同窓会活動は、会員相互の親睦を図るとともに母校の発展を支援していくことを目的としております。

在学生の皆さんは大学に在籍中は準会員で卒業と同時に同窓会正会員となります。会費は、在学中に授業料等と一緒に25年間分を納めていただいております。

全国27地区に支部高千穂会があり、年1回懇親会等行事を開催しており、それぞれ支部高千穂会から懇親会のご案内をいたしております。

今回は、同窓会が現在行っている学生支援についてご案内いたします。

1. 高千穂学園同窓会奨学金

本年度は対象者21名に対して7月3日の奨学生表彰式に奨学金5万円を授与いたしました。

学業成績が上位で人物優良な者を支援することを目的としております。

資格は、大学奨学金制度で「学業成績優秀者奨学金制度」および「小池厚之助賞」を在学中2回以上授与された者に対して4年次に表彰しております。



平成24年度同窓会奨学生

2. 学友会諸活動や主催行事への支援

(1) クラブやゼミナール活動に対して、毎年5月の同窓会総会と12月の同窓会評議員会の席で表彰し、奨励金を授与しております。

対象は、5月は体育系クラブ、12月は文連とゼミ連系です。



5月総会でのクラブ表彰

昨年12月は新津ゼミナール、松崎第一ゼミナール、ジャズ研究会を、今年度は5月に硬式野球部、アメリカンフットボール部、剣道部を表彰し、活動奨励金として5万円を授与しました。

(2) 5月開催の体育祭では、体育祭参加者へ弁当と飲物の支援を行っております。これまでに競技に使うクラブ別のゼッケンを寄付しました。



5月体育祭 (登戸グラウンド)

(3) 10月の高千穂祭には、ホームカミングデーを行い、来校いただいた方に同窓会受付で模擬店で利用できる金券を配布しており、大学祭への協力も行っております。



高千穂祭のホームカミング受付

3. 留学生との交流支援

留学生相互の交流を図り、より豊かな学生生活を送っていただくことを目的に見学会やレクリエーションを行っております。その一環としてボウリング大会を行っており、留学生に好評であり今年度も10月27日に王子のボウリング場で行う予定にしております。



留学生ボウリング大会

高千穂大学父母の会

平成24年度大学見学会「新入生」を対象に実施

平成24年度の大学見学会は、6月16日（土）・23（土）の2回に分けて実施しました。

6月16日（土）は、神奈川県支部、千葉県支部、山梨県支部、静岡県支部、群馬県支部の5支部から72名、6月23日（土）は、東京都支部、埼玉県支部、茨城県支部、栃木県支部、福島県支部の5支部から137名、合計10支部から209名の出席がありました。

内容は、午前11時よりそれぞれの支部に別れ参加者の自己紹介を行ったあと、施設見学に入り、図書館・就職支援課、コンピュータ室を3グループに別れ実施しました。午後12時30分から学生食堂で昼食をとり、午後1時30分から理事長・学長による大学の近況報告、教務委員会からの履修についての説明、個別相談を行い午後3時頃解散となりました。

参加者のアンケートと写真で大学見学会の様子を報告いたします。（ ）内はアンケート書いていただいた保護者の出身地です

- ・学習する環境が整っており、やる気を出せば、目指したい目標を明確に設定し達成できると感じた。（神奈川県）
- ・内容も充実しているし、もっと大学の良さをアピールして、レベルアップしたイメージを表に出して欲しい。これからまだ伸びると思う。（東京都）

1. 自己紹介

同学年や支部役員の方に大学の様子を聞いてよかった。（神奈川県）



2. 施設見学

◎図書館

図書館が充実していたので子供に活用してもらいたい。（埼玉県）特に社史のコレクションは素晴らしい。（千葉県）

◎就職支援課

本人がどれだけ危機意識を持っているかは不明。手厚い就職支援に感謝。（山梨県）

◎コンピュータ室

充実したパソコンや図書館、就職支援を子供が活用しているか確認しようと思う。（茨城県）

3. 昼食会

◎学食体験

味は普通だった。清潔な食堂で気持ち良かった。（栃木県）学食のメニューはもう少し多くてもよいと思った。（埼玉県）

4. 大学の近況報告

理事長の挨拶で、これからの基本方針を決めて行かなければ乗り遅れることを痛感した。漠然と子供に話をするだけではいけないことが判った。（神奈川県）



図書館



就職支援課



コンピュータ室



学食にて昼食会



理事長より近況報告

7月11日

学友会が高井戸警察署より 感謝状を授与されました

学友会本部役員で結成された「ミルバス高千穂防犯パトロール隊」が、平成 24 年 7 月 2 日（月）、高井戸警察署において、警視庁高井戸警察署長・高井戸防犯協会会長連盟の感謝状が授与されました。昨年度、警視庁高井戸警察署生活安全課からの要請により、学友会本部役員が「ミルバス高千穂防犯パトロール隊」を結成し、犯罪防止対策総会、地域安全運動への参加、防犯パトロール活動に協力して来しました。学友会本部役員・学友会所属団体・ゼミナールが分担して学内外清掃クリーンアップキャンペーンを毎週水曜日に実施していますが、これと併せて、高井戸警察署と連携して月に 1 度、防犯ボランティア活動も実施してきました。

このような活動に対して、今回の感謝状が授与されました。

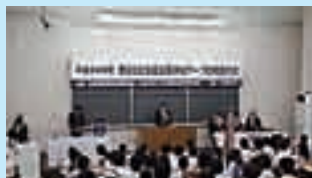


8月29日

本学にて「全国高等学校ワークプロ競技大会」が 実施されました

8 月 8 日（水）、本学にて、「平成 24 年度第 59 回全国高等学校ワークプロ競技大会」が開催されました。（本学では 4 回目の開催）

本学では初回開催時より団体競技の優勝校に「高千穂大学賞」を授与しており、本年度の優勝は富山県立富山商業高等学校でした。



表彰式の様子



成田学長より「高千穂大学賞」の授与

9月10日

五野井准教授が日本記者クラブにて 記者会見を行いました

9 月 6 日（木）、日本記者クラブにて、本学経営学部五野井郁夫准教授が「デモと民主主義」について記者会見を行いました。会見の内容、映像などは下記リンクからご覧いただくことができます。

■日本記者クラブ web サイト

会見の詳細ページ <http://www.jnpc.or.jp/activities/news/report/2012/09/r00024772/>

TOP ページ <http://www.jnpc.or.jp/>

9月19日

長谷川ゼミが児童館で 発表を行いました。

杉並区立堀ノ内南児童館にて長谷川ゼミの活動発表が行われました。

健全児・要支援児の統合プログラム「ハッピーグループ」のうち、1 時間を本学長谷川ゼミが任せられ、無事終了しました。どのようにすれば子供たちの興味を引けるのか、一緒つくるにはどうすればスムーズにできるかなど、試行錯誤した成果が出せたようです。この内容は 11 月のゼミ発表会で長谷川ゼミにより報告される予定です。



9月20日

藤井理事長の インタビュー記事が 掲載されました

藤井耐理事長のインタビュー記事が、雑誌「経済界」（2012 年 10 月 2 日号 出版社：経済界）に掲載されました。本学の創立から、教育方針、カリキュラムなどについてインタビューに答えています。

雑誌「経済界」web サイト <http://www.keizaikai.co.jp/magazine/index.html>



9月20日**事務局による防災訓練を行いました。**

秋学期授業開始を翌日に控える、9月20日に防災訓練を行いました。学生が屋内にいることを想定した、初期消火活動から避難誘導までを訓練しました。
主に今後の災害に備えることを目的とし、自衛消防隊の活動のブラッシュアップを図りました。
対応・手順などに不備がないか杉並消防署員の方にも審査をして頂き、事務局全体の防災意識を高めました。

**9月25日****2012 年度 IBCS 研修生が
オレゴン大学に出発**

9月21日に今年度のIBCS研修生2名がアメリカのオレゴン大学へ出発いたしました。約3ヶ月の研修に臨みます。

**9月28日****平成 24 年度春学期卒業式を
挙行致しました。**

本学2号館にて、平成24年度春学期卒業式を挙行致しました。卒業生、そしてご家族の皆様に対してお祝いを申し上げます。
卒業生が新たなステージにて活躍されることをお祈り致しております。

**2012 オープンキャンパス実施報告**

連日暑いが続いた7月から9月もオープンキャンパスが開催されました。

夏休みに入った多くの高校生が、友達や保護者の方々と参加され、気温以上の熱気に溢れたイベントとなりました。
特に7、8月のオープンキャンパスの模擬授業は、コース、専攻別で実施しました。

今後も下記のとおりオープンキャンパスを予定しております。ぜひご参加いただければと思います。

第6回 10月20日(土) 11:00-14:00

第7回 12月15日(土) 10:00-13:00

第8回 3月17日(日) 13:00-15:00



熱気にあふれる全体会場

参加者から好評だったコース・
専攻別模擬授業8月の出願を控え真剣に
聞き入る AO/推薦入試対策4年間の学び舎は
キャンパスツアーでチェック!**編
集
後
記**

▼今年の夏も暑さの厳しい日が続きました。この所、毎年「今年の夏は去年よりも暑い」を繰り返してしまっているような気がします…。▼一方、今夏は「暑い夏」だけではなく「熱い夏」もやってきました。4年に一度の夏季オリンピックを、深夜、明け方までご覧になられていた方も多いのではないのでしょうか。私は特に女子柔道の松本選手と男子フェンシング団体の戦いぶりに目を奪われました。▼松本選手は日本の女子選手とは思えないような、闘争心溢れる積極的な攻めを見せてくれました。松本選手の果敢な攻め、闘争心と、日本人柔道選手の技術を合わせれば金メダルも簡単と思わせるほどでした。▼男子フェンシング団体の準決勝でのドイツとの対戦は最後の1秒まで勝負のわからない接戦でした。瀬戸際の攻防で確実に勝ちをものにする冷静さと勝負強さには驚かされました。▼場所は変わり、高千穂大学でも「熱い夏」を過ごした学生達がいました。9月からの公式戦を控えた体育会団体、発表や作品展に備える学術文化団体連合会の団体、ゼミ発表会やインナー大会の研究を入念に準備するゼミナールやゼミ連本部役員達。ぜひオリンピック選手たちにも負けない闘争心と冷静さを持ってそれぞれの戦いに挑んでもらいたいと思います。(編集室)

編集委員

●編集長 吉崎信彦

●委員 高橋 拓

西原正人





「大学基準に適合」の認定マーク

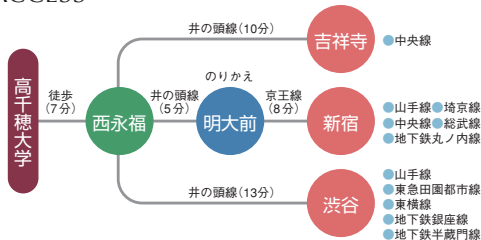
喫煙に関するルールについて

本学キャンパスのある杉並区では、条例により区内全域で、歩きたばこや吸い殻のポイ捨てを禁止（一部の路上禁煙地区では条例違反者から過料を徴収）しています。

本学においても、構内の指定された場所以外での喫煙は禁止とし、また、通学路等での喫煙についても歩きタバコや吸い殻のポイ捨てについては厳重に注意を与えています。

しかし、いまだにルールを守らない喫煙者が多く見受けられ、非喫煙者のみならず近隣住民の方々、ルールを守って喫煙している人にも多大な迷惑を掛けることとなっています。高千穂大学の学生として、節度ある行動をとり喫煙マナーの向上を心がけてください。

ACCESS



- 山手線・新宿駅または渋谷駅から西永福駅（井の頭線）まで 13 分
（新宿駅からの場合は、明大前のりかえ）
- 中央線・吉祥寺駅から西永福駅（井の頭線）まで 10 分
- 西永福駅から本学まで徒歩 7 分

CAMPUS MAP



✉ soumu@gac.takachiho.ac.jp

Quarterly 高千穂 Vol.39

Quarterly高千穂 第39号

発行責任者：吉崎信彦 発行：高千穂大学

〒168-8508 東京都杉並区大宮2-19-1 TEL 03-3313-0141

発行日：平成24年10月20日 無断転載・複製不可

